

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0609
施設名	丸子ベビー保育園
施設所在地	大田区下丸子3-21-17
法人名	社会福祉法人みくに会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・生き物

<テーマの設定理由>

本園の舎に戻り、子どもたちが興味を持っている本園舎と臨時園舎の周囲に生息する自然の違いを観察する機会を提供するため。園庭や近隣の公園での観察を通じて、自然物の違いを感じることができ、子どもたちが自然環境に対する理解を深めるため。また、発表会や調理保育の行事と関連した自然物についての探究活動を行うことで、活動を多方面から見ることができる。

2. 活動スケジュール

- ・11月：仮園舎周辺公園で自然物を集め、形や色の違いに気づく。集めた自然物を自由に使って、空き箱の中にアート作品を作り、作品のテーマや気に入っているところなどを発表する。
- ・12月：本園舎周辺公園で自然物を集め、仮園舎との違いは何か考える。発表会で行った合奏を振り返り、集めた自然物を使って楽器作りにチャレンジする。
- ・1月：調理保育に向けて、「野菜」の種類や形、カレーに入れる野菜とそうでない野菜の違いについて考える。実際に切って、試食してみることで、どの切り方がカレーに適しているかを考える。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・自然物を使った作品作りの際には、教室に「アートステーション」を設置し、使用してよい道具がわかるようおく。作品を発表したり、置いたりするスペースを確保する。自然物のほかにも、空き箱、ストロー、カップ、色画用紙など素材を自由につかえるようにする。
- ・野菜の探究では、玉ねぎ、にんじん、さつまいも以外に他の野菜（比較用：きゅうり、大根、ピーマンなど）も幅広く用意し、手触り・匂い・切った断面など実際に感じるようにする。キッチンスペースを確保し、包丁で切ったり、調理した野菜を味わえるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・集める自然物のルール(安全なもの)を確認し、「この葉っぱ、きれいだね！」など、自然物に関心を持つ声がけを行う。集めたものを簡単に見せ合いながら、どのように使いたいアイデアを聞く。園に戻り、アートステーションにあるボンド、はさみを自由に使って作品を作る。自然物を箱の中に配置したり、画用紙に葉っぱを貼ったり、自由に表現できるよう見守る。
- ・発表会で楽器演奏を楽しんだことを振り返り、「園庭や公園でみつけたモノで、どんな楽器が作れるかな？」と問いかける。色々なアイデアを共有し、自分が作りたい楽器を制作する。作った楽器に色を塗ったり、カラフルなアイテムを使うなどして楽しむ。作った楽器を使って、みんなで音を出して演奏する。
- ・カレーで使う具材について「どんな野菜かな？」と問いかけ、子どもたちの知識や意見を引き出す。グループに分かれて玉ねぎ、にんじん、じゃがいもを渡し、触ったり、匂いを嗅いだりしながら特徴を観察する。どんな手触り？」「色や形はどう違う？」と問いかけて、気づいたことを話し合う。他の野菜と比べて、「何が違うかな？」と発見を深める。どうやって切ると美味しくなるか考え、薄切り、角切り、厚保切りに切る。切った野菜を調理し、食べ比べを行う。どの形がおいしいか、形で味が変わるかを意見を共有し、カレー作りについて、期待感を高める。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・自然物の収集では、色に着目（「だんだん黄色くなってきれい」「しましまになっている(葉脈に沿って緑に残っていた)」「緑もあった」）、形に着目（「ハートのかたちになってる」「手のかたちしてる(もみじ)」「こんなにおおきいのあった」）、質感に着目（「うらとおもてと色が違う」「かさかさしてる」「ざらざらしてる」）、葉っぱ以外のものに着目（「かいがらみつけた」「丸い石みつけた」）など、様々な視点をもって観察している。
- ・楽器作りでは、小さい石を入れたものと大きい石を入れたもので「こっちはサラサラ～ってすなみたいな音がするよ」と、音の違いに気づいていた。
- ・野菜に触れる体験では、「皮をむいてみてもいい？」「割ってみていい？」と、積極的に試していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・自然物の収集では、自分で気づいたり発見したことを興奮と驚きをもって報告している。それぞれ拾ってきた落ち葉からイメージをもって、迷うことなく夢中になって取り組んでいたのが印象的だった。
- ・仮園舎と本園舎の公園では自然物の種類が違うことに気づいていた。これまでは公園で体を動かして遊ぶことが主であったが、探究活動を行うことで、自然に注目し、思ったこと、感じたことを表現しあうことの楽しさを知ることができた。
- ・野菜に触れ、実際に手で割ってにおいを確かめたり、皮をむいて皮と中身の違いを発見していた。野菜について、例えばさつまいもの実り方、野菜の切り方など知識としては知っていたが、実際に野菜に触ったり、切ったりする実体験により、硬さやにおいにも気づくことができていた。
- ・カレー作りの前日に探究学習を行ったため、期待感が高まり、見通しをもつことができていた。探究活動により、ただ切る体験だけでなく、「おいしく切ろう」という意思や思考をもって主体的に取り組むことができたと思われる。